

在宅看護管理論

[講義] 2年 前期 選択 30時間 2単位

《担当者名》○川添恵理子 [e-kawa@hoku-i-ryo-u.ac.jp]

【概要】

在宅看護を担う重要な機関である、訪問看護ステーション等の在宅看護関連事業の管理・運営およびサービスの質改善の推進ができる能力を養う。本講では、在宅看護関連事業所の開設、効果的な管理・運営およびマーケティング、経営戦略、在宅看護の効果とその根拠、ケアの質評価とケア効果を高める方略の検討など研究的手法を活用して探求する。さらに、地域包括ケアシステムを踏まえた在宅看護関連事業所の開設・運営、看護サービスの質の向上のありかたについて理解を深める。

【学修目標】

1. 訪問看護ステーションをはじめとする在宅看護関連事業所の効果的な管理・運営方法について検討し、評価・改善策が提案できる。
2. 看護サービスの質の評価、維持・向上に向けた運営方法について検討することができる。
3. 地域における在宅看護サービスの質の改善に向けた事業展開、新たなサービスの提案ができる。地域包括ケアシステムにおける在宅看護事業所の役割と課題を理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	在宅看護関連事業所の開設(1)	在宅ケアを提供する事業の制度的根拠 教員による講義	川添
2	在宅看護関連事業所の開設(2)	「マーケティングの基礎」 効果的・長期的な経営戦略の実際、価値の創出と共有について理解し、在宅看護関連事業部著の運営・サービス提供について理解を深める。 特別講師による講義とディスカッション	金間大介(特別講師) 川添
3	在宅看護関連事業所の開設(3)	「イノベーション入門」 顧客の課題を見出し解決するプロセス、持続的な競争優位や生ちおうを生み出す活動について理解し、在宅看護関連事業部著の運営・サービス提供について理解を深める。 特別講師による講義とディスカッション	金間大介(特別講師) 川添
4	在宅看護関連事業所の運営(1)	組織の事業運営の分析 SWOT分析の方法について要点をまとめ発表する 教員とのディスカッションを通して理解を深める	川添
5	在宅看護関連事業所の運営(2)	組織の事業運営の分析 SWOT分析の方法を用いて 自身のSWOT分析について発表し、ディスカッションを通して学びを深める	川添
6	在宅看護関連事業所の運営(3)	組織の運営の分析と計画 SWOT分析 学生の所属組織について分析し報告する。	川添
7	在宅看護関連事業所の運営(4)	組織の運営の分析と計画 SWOT分析を用いて、学生の所属組織について分析した内容を基に、ディスカッションを通して学びを深める	川添
8	在宅看護関連事業所のケアの質評価と改善(1)	在宅看護の機能と効果 看護サービスの質・ケア効果の評価に関する視点と手法 研究論文より学生が要点を発表し討議する。	川添

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
9	在宅看護関連事業所のケアの質評価と改善(2)	在宅看護関連事業所のケアの質の改善 事業所のケアの質評価をもとに、質の改善を目指した計画を立てる。 学生が発表し内容を基に、ディスカッションを通して学びを深める。	川添
10	在宅看護関連事業所の開設・運営に向けた地域理解(1)	活動地域の特性と在宅看護ニーズのとらえ方 学生が文献や地域の資料等から調べた要点を発表する。学生が自身の活動地域の特性と在宅看護ニーズをアセスメントし、討議する。	川添
11	在宅看護関連事業所の開設・運営に向けた地域理解(2)	マーケティングの手法と事業展開 学生が文献や地域の資料等から調べた要点を発表する。学生が自身の活動地域のマーケティングを行い、事業展開への活用を検討する。	川添
12	在宅看護関連事業所の開設計画(1)	在宅看護関連事業所の開設計画の立案 学生が自身の地域の課題を解決するための活動計画を提案し、発表を行う。 学生が模擬的に在宅看護関連事業所の開設計画を立案する	川添
13	在宅看護関連事業所の開設計画(2)	在宅看護関連事業所の開設計画の立案 アセスメントの結果から、学生が自身の活動地域の在宅看護サービスについて課題を明確にする。 学生が自身の地域の課題を解決するための活動計画を提案し発表を行い、ディスカッションを通して学びを深める。	川添
14	地域包括ケアシステム構築における在宅看護CNSの役割(1)	在宅看護CNSの活動 ~ 実践事例より 地域看護CNS(在宅ケア)の講義と討議	川添
15	地域包括ケアシステム構築における在宅看護CNSの役割(2)	地域包括ケアシステムにおける在宅看護の現状と課題 地域看護CNS(在宅ケア)と学生による討議 まとめ 教員によるまとめ	川添

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

討議への参加(30%)、発表(30%)、発表資料(40%)

【教科書】

なし 随時、文献を提示する。

【参考書】

佐伯和子：地域看護アセスメントガイド アセスメント・計画・評価のすすめかた..医歯薬出版. 2007.

深沢優子：SWOT/クロス分析. 日総研出版. 2016.

石垣和子・金川克子監修・山本則子編：高齢者訪問看護の質指標..日本看護協会出版会.2008.

日本訪問看護財団：訪問看護ステーション開設・運営・評価マニュアル.日本看護協会出版会.2016.

【学修の準備】

テーマに沿って事前に課題をまとめておく。事前に関連する文献を熟読して授業に臨むこと。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。